

平成25年度第2回八街市地域公共交通協議会 会議要旨

- 日 時：平成25年9月27日（金）午後3時～午後5時
- 会 場：八街市役所 第1庁舎 3階 第1会議室
- 出席者：委員25名中23名（代理出席者3名を含む）欠席2名
- 傍聴人：0人

3. 議題

(1) 八街市地域公共交通調査事業について（報告）

- ・事務局：（資料説明）
- ・（質問なし）

(2) 区長アンケートの結果について（報告）

- ・事務局：（資料説明）
- ・中村委員：区長自身の認識度はどの程度か疑問。デマンド交通やふれあいバスについて理解しているのか。質問8の需要について「かなり」はどの程度のことを指しているのか。
- ・事務局：「かなり」について、具体的な数値は、説明していないが、アンケートの調査の趣旨は、区長に直接説明している。「かなり」と回答した区長は、「児童の利用がある」「高齢者の利用が多い」と指摘していた。
- ・轟代理(県)：路線バスの廃止の影響が大きいと回答した「二区」では、どの程度路線バスを利用しているのか。
- ・事務局：（路線バスの利用者数について説明）

(3) 八街市デマンド交通試験運行事業について

- ・事務局：（資料説明）
- ・戸川委員：事業内容について質問。①区域設定の理由は何か。②スケジュールがタイトであるが、どのように事業者を選定していくのか。③市民への周知はどうするのか。準備期間が短いのではないか。PRも1か月では足りないのではないか。
- ・事務局：区域については、「都賀線」の廃止申し出があることから、その沿線とした。ふれあいバスへの影響も把握したいと考えている。
- ・事務局：準備期間については、申し訳ないが、多様な案を調整していたこともあり、最近となってしまった。プロポーザルについて協議会で認めていただければ、すぐ公示する。地元の事業者にも今後、説明に行きたい。また、市民への周知については、地元の区長、議員に説明をしていきたい。
- ・戸川委員：市民への周知は、なかなか浸透しにくいので、よろしくお願ひしたい。
- ・佐藤委員：今回の試験運行の地区の方々は、ふれあいバスが導入されたとき、すごく喜んでいた。ふれあいバスを使って、地元の資源を見てもらおうという取組みを行っている。デマンド交通を導入するとその取組みができなくなる可能性がある。デマンド交通を導入する場合は、地元

何回も説明する必要ある。議員や区長より、地元で乗ってもらう人に説明してもらいたい。

- ・中村委員：デマンド交通のサービスについて、予約は前日までとなっているが、デマンドであれば、利用時間の直前までにしてもらえないか。時間帯は、17時半まででは早すぎるのではないか。公共交通であれば遅くするべきではないか。また、時間帯は、降車時間ではなく、乗車時間で区切るべきではないか。さらに途中下車を認めないとあるが、ルートを迂回しないのであれば途中下車を認めてもよいのではないか。
- ・事務局：降車場所については、他の自治体の事例をふまえて、特定地点限定とした。どこでも降りられればタクシーと一緒にになるので、デマンド交通の不便な点も評価してもらいたい。時間帯についても、他の自治体の事例より（17時くらいが一般的）設定した。使い勝手が悪いところも体験してもらいたい。予約時間については、システムを導入すれば、当日予約可能であるが、今回はシステムを導入しない実験なので、前日予約とした。配車手配の時間的余裕を考慮した。
- ・中村委員：数人乗合いの場合、予約の順序もあり、時間の即答はできないことになるのか。
- ・事務局：予約の状況によっては、断る場合もある。
- ・中村委員：それはどういう意味か。
- ・事務局：タクシー車両2台でカバーできるスケジュールを超えればお断りする。
- ・中村委員：最初の予約から優先で、だんだん不利になるということか。了解した。
- ・轟委員：事務局には、周知徹底をお願いしたい。運行時の不具合をチェックする上では、利用してもらわないと実験にならない。事前登録が、市役所までとなっているが、ハードルが高い。電話等での事前登録を可能としてはどうか。実施時期は決定事項か？スケジュールがタイトであることから、遅らせることは可能なのか？
- ・事務局：実施時期は調整可能なので、スケジュールがタイトであれば、時期を遅らせる。事前登録は、電話登録も可能である。説明会で登録用紙を配布する予定である。
- ・土屋委員：実施時間は、国の補助金の関係か。1月でも可能なのか。
- ・事務局：国の補助金の関係ではない。計画策定のためのデータ収集であり、なるべく早く行いたいと考えている。

(4)ふれあいバスの運行体系について

- ・事務局：(資料説明) 今後検討していきたい。
- ・小澤会長：質問や意見があればどうぞ。
- ・中村委員：土日の利用が少ないということだが、逆に、土日は、利用の多いスポーツクラブ等のアクセスに特化した運行にしてはどうか。
- ・小澤会長：意見として、承る。

(5)「地域公共交通に関する勉強会」の開催について

- ・事務局 : (資料説明)
- ・(質問なし)

(6)その他

- ・事務局 : デマンド交通の試験運行の実施に向けて、市民の皆様への周知を進めていく。その一環となる勉強会には、委員に皆様もご参加いただきたい。
: 次回の協議会の日程は、デマンド交通試験運行の結果と、計画案がまとまった後に開催したい。日程は後日調整する。

4. その他

(1)路線バス「都賀線」の廃止について

- ・事務局 : (資料説明)

(2)アウトレット線の廃止について

- ・事務局 : (資料説明)
- ・鶴澤委員 : アウトレット便は利用が進まなかった。八街駅からは1人／便程度、成田からでも4人／便。また工夫していきたい。短い期間でしたが、ご利用ありがとうございました。